

空家等(候補)抽出の半自動化に向けた屋根等判断方法のマニュアル化および 市民協働による対策事業(除却・利活用等)を支援する共通基盤システムの構築(国際航業(株))

課題と目的	<ul style="list-style-type: none"> ・空家等(候補)情報が増加・複雑になる一方で、人手や連携が不足している。 ・空き家所有者や市民からの相談等に、より円滑に対応し事業を促進するため、業務全般の効率化および市と専門家団体等の連携強化・ナレッジマネジメントが必要である。
取組内容	取組ア…既存の航空写真(実体視)を利用した空家等(候補)の抽出 取組イ…対策事業(除却・利活用等)を支援する共通基盤システムの構築
成果	取組ア.成果… 航空写真(実体視)による空家等(候補)の抽出手法が一定の有効性を示した。 ⇒ 航空写真(実体視)・GISを用いることで、客観性・公平性・悉皆性を確保した机上調査を実施した。 ⇒ 机上調査による抽出の7割以上(※)が現地において「空家等(候補)である」と判定された。 (※現地にたどり着けない、公道外観目視で判断できない、解体済などの「判定保留」を除く。) 取組イ.成果… 情報を一元化する共通基盤システムの基礎を構築した。 ⇒ 空家等(候補)の調査や基本情報の共有(閲覧管理・更新)が可能 となった。(※個人情報を除く。)

